



# 1月の園だより

学校法人志賀学園  
松の実こども園  
令和4年1月11日

あけましておめでとうございます。一年の計は元旦にあり。皆様、志をもって新年を迎えられたことと思います。昔から、元旦には「年神様」という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために各家庭にやってきて、人々に健康や幸福を授けるとされています。そこで、年神様へお供えする「おせち料理」には、五穀豊穰、子孫繁栄、家内安全、無病息災、長寿などの祈りを込めて、縁起の良い海の幸、山の幸を豊富に盛り込みました。そして、7日にはお正月の祝膳や祝酒で弱った胃を休めるために春の七草（ごぎょう・はこべら・ほとけのぎ・すずな・すずしろ・せり・なずな）入りの七草がゆをいただきます。また、本日11日は鏡開きです。こども園では始業式で神棚にお供えしていた鏡餅を、お当番さんが小づちで叩いて鏡開きをします。お餅は12日に給食室で揚げ餅にして皆でいただき、神様のご利益で無病息災を願います。

さて、志賀学園では1月4日に全職員による初顔合わせがありました。そこで、志賀達生理事長先生より、昨年に引き続き“**楽しい保育を続けよう**”という、令和4年度の教育・保育方針が打ち出されました。楽しい保育をするということは、環境を整え子どものやりたい遊びを提供出来るようにするという事です。子どもが興味を持ってやりたいということに答えられるように、先生方は冬休みの間、予想される活動としてお正月遊びの準備を整えました。凧揚げ、こま回し、カルタ、すごろく、福笑い等々、昔から伝わる伝統遊びにも興味が向けられるよう、年齢の育ちに合った遊び方を創意工夫して、楽しく過ごしていきたいと思えます。

また、「躰の三原則」と立腰の継続として、まず一つは朝の挨拶、二つ目は名前を呼ばれたら「ハイ」と返事をする、三つ目は履物を揃える、立ったら椅子を中に入れる。そして、立腰（正しい姿勢で椅子に座る・足をしっかり地面につけて立つ）です。昔から「三つ子の魂百まで」と言われています。お子さんの生活の基本や姿勢が正しくできるようになるために、そして集中力を高めしっかりとした考え方ができる人になるために、まずは私たち大人がお手本になっていくことが大切ですね。

そして、「温故知新」日本の良き伝統を伝えるです。日本古来の行事について、折に触れ子どもたちに伝えたり、実際に経験したりして、豊かな感性を育てていきます。毎月園だよりでもお知らせしていきますので、是非ご家庭でもお子さんとの話題にしてみてください。

これからも、第6波、オミクロン株の拡大に備え、新型コロナウイルス感染症対策を心掛け、子どもたちにとって安心・安全な環境を整えて参ります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。